

6年租税教室

15日(月)租税教室を開催し、6年生が税の学習をしました。講師は、加古川税務署の山岸さんでした。授業のめあて「税金の大切さを知る」を確認してから教室が始まりました。

- ・税金を払ったことがある人?→(半分ぐらい)ある
- ・どんな税金ですか?→消費税(手を挙げていなかった子もハツとする!)
- ・消費税は何%ですか?→10%
- ・ですが...→(すかさず)食品は8%
- ・他にどんな税がありますか?→所得税、法人税、固定資産税、住民税、自動車税、たばこ税、酒税、贈与税...
- 税金、払っても良いですか?払いたくないですか?→3分の1くらいは払いたくないに挙手
- ・日本に税金は何種類ぐらいあると思いますか?
→50種類

○税金は、いっぱい集めているいろいろな所に使われています。

次に、「税金のある世界とない世界」のDVDを見ました。

その後、

- ・税金が無くなるとどのようなことが起こりますか?
→信号がつかない、消防士の給料が払われない、橋が落ちてもおしてもらえない、ゴミを収集してもらえない、交番が犯人を捕まえるのにお金がかかる、学費もいる

等身近な所として、学校の話が中心になりました。

- ・小学生1人当たりの1年間の教育費はいくらだと思いますか?→約94万円

1か月あたり約78000円、20日間登校するとして1日当たり3900円になる

ちなみに、中学生は108万6000円、高校生は112万7000円という試算になるそうです。

税金で、教科書を配付しているだけでなく、机やイス、校舎やタブレット、先生の給料など様々なお金を支払っています。

- ・ここで再度、質問がありました。

- 税金、払っても良いですか?払いたくないですか?→ほぼ100%が払っても良いに挙手していました

○税金は、みんなから少しずつ集める会費のようなものと考えられる事が出来るそうです。

その後、1000万円の束10個で、1億円の見本を見せてもらい、3つの質問「①今と昔、税金はどちらが多いですか?」「②税金を納めないとどうなりますか?」及び「③差し押さえができなければどうなりますか?」に答えてもらって終わりました。今回のお話を通して、税金の必要性を理解し、きちんと納税ができる大人になってほしいと願います。

